

知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより
2008年3月

第25号



本を読む人シリーズ(25)

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。

寺院の煤払いの様子～重宝を拝もうと参詣の人々で賑わった～

(『目でみる江戸・明治百科』～国書刊行会～より)

■ トピックス

▼ 展示コーナーからのお知らせ

4月からは、「源氏物語千年紀」をテーマとして展示する予定です。今年は源氏物語が記録上確認されてから一千年を迎える年です。

▼ 名作映画鑑賞会

毎月第3土曜日に名作映画鑑賞会を開催しています。詳しくは、7ページをご覧ください。

目	次
特集：平成19年度文学講座 ～伊藤左千夫と房総の阿羅々木歌人	……2
図書館ぶらり散歩(25) ～ピンクの本	……4
図書館の達人(調べ案内1) ～シンガポールについて調べる	……5
参考図書カフェ(2) ～共同通信ニュース予定2008	……6
レファレンスあれこれ(25) ～「二人羽織」のやり方を知りたい	……7
名作映画鑑賞会のご案内 ～4・5・6月の上映予定	……7
行ってみよう！近くの施設(25) ～伊能忠敬記念館	……8

ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>



特集：平成19年度文学講座

『伊藤左千夫と房総の阿羅々木歌人』

☆12月1日(土)、現在の山武市出身で房総にゆかりのある、歌人・小説家である「伊藤左千夫」をテーマに、文学講座を開催しました。その模様の一部を御紹介します。

「伊藤左千夫と房総の阿羅々木歌人」

講師 加藤時男氏(千葉県文書館古文書調査員)



・・・(前略)・・・

アララギ派の元になったのが正岡子規です。正岡子規が明治32年に根岸短歌会を東京の根岸(現在改装され子規庵として開館しているようです。)で結成し、そこで門下(はじめは虚子など俳人たちだった)たちと短歌の革新運動を展開します。その後正岡子規のもとでそれに共鳴して、写実主義というか写生主義というか与謝野鉄幹の浪漫主義に対する同じ万葉を理想とする新派の和歌の中で、少し傾向の違う

子規の歌風に共鳴して集まってきたのが伊藤左千夫であり、香取秀真 **かとりほずま** (印西市一もともと鑄金が専門ですが、伊藤左千夫よりも早く)も正岡子規の門下に入っています。さらに埴谷村(山武市)の蕨真一郎 **わらびしんいちろう** (『阿羅々木 **あららぎ**』を出版する蕨家の長男)や、長塚節 **ながつかたかし**、森田義郎 **もりたぎろう**、岡麓 **おかふもと**、これらの人は千葉県ではありませんが、こういった方々が子規の直弟子となり、直接教えを受けたり影響を受けたりしました。子規は39歳で亡くなっていますから、短命で直接教えを受けた門下はそんなに多くありません。斉藤茂吉でも土屋文明 **つちやぶんめい**でも伊藤左千夫をとおして影響を受けているわけであって、直接教えを受けたわけではありません。

正岡子規の流れというのは千葉県に非常に関係が深い。特に伊藤左千夫をとおして子規の歌の精神を受け継いでいったのが三井甲之 **みついこうし** (山梨県)や蕨真一郎、蕨樞堂 **わらびきょうどう** (蕨真一郎の弟で本名直治郎 **なおじろう**)、それから、村上成之 **むらかみしげゆき** (愛知県出身、旧制成東中学、今の成東高校の創立当初の国語の教員)です。明治33年に旧制成東中学が創立されます。その直後に国語の教師として赴任し寮の舎監をやったりして伊藤左千夫とも繋がりができ、蕨家とも関係が非常に深く(真一郎、直治郎の弟達が成東中学に入学し、村上成之の世話になった)なりました。

そして埴岡短歌会 **はにおかたんかかい** (のちに『阿羅々木』という雑誌をだす中心となるグループ)の重要なメンバーとなっていくのが村上成之です。有名な話に成東中学から転勤をした時、(当時

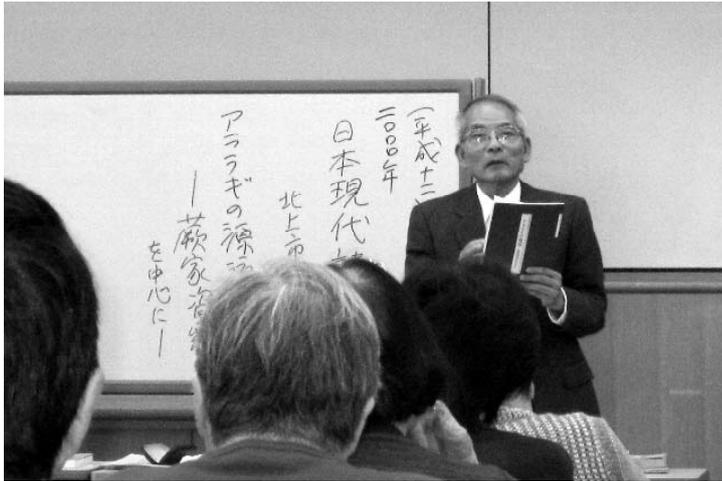
【講師紹介】

加藤時男氏

昭和13年11月生まれ

「千葉県の歴史」編纂の調査執筆員として参加し、主として近現代史部会の文化史分野を担当された。

また、近世史部会にも参加し、現在、房総の俳諧について執筆中。



の中学は全国的に転勤しますから、成東中学のあとに群馬の高崎中学に転勤している。)そこに生徒でいたのが土屋文明です。のちに齊藤茂吉のあとを受けてアララギ派の中心になっていくあの土屋文明が高崎中学の4年でいました。村上成之の教えを受けて短歌に目覚めていき、村上成之の紹介で高崎中学を卒業したあと伊藤左千夫のところまで世話になっています。そして左千夫の紹介により神崎町の寺田憲〔てらだけん〕に学資

を出してもらって一高へ行っています。ですから寺田家には足を向けて寝られない、と何かに書いていますが、その人脈を作ったのが村上成之です。それからこのグループには蕨桐軒〔わらびどうけん〕がいます。蕨一族というのはどこかで繋がっているのでしょうか、そんなに近くはなさそうですが、蕨桐軒という人も初期のアララギ派の歌人として活躍しています。それから、あと同じ千葉県では佐倉の依田秋圃〔よだしゅうほ〕がいます。漢学や演劇、改良などで活躍する依田学海〔よだがつかい〕という有名な学者の甥になりますが、いずれにしても依田というお宅は佐倉藩の重役です。しかしながらのちに左千夫から離れて行きます。それから、寺田憲はアララギ派の歌人ではないのですけれども、むしろ佐佐木信綱〔ささぎのぶつな〕の弟子なのですが、アララギに非常に好意的であって関係がありました。

そして『阿羅々木』が出た後、いわば伊藤左千夫の直弟子として鴨川の古泉千樞〔こいずみちかし〕、千葉県ではないのですが、若手としてアララギ派を牽引していく島木赤彦〔しまぎあかひこ〕、齊藤茂吉、土屋文明、釈迢空〔しゃくちょうくう〕=折口信夫〔おりぐちしのぶ〕、そういった人達のがのちにアララギを背負っていきます。なお、千葉県の関係でふれておいたほうがいいと思う歌人に、今井邦子〔いまいくにこ〕がいます。もともとは千葉県の人ではないのですが、旦那さんが成田の政治家で、その奥さんになって、アララギ歌人として女流歌人として活躍します。それからもう一人この地域に関係の深い人で、アララギ派ではないのですがアララギに非常に共鳴して、正岡子規とか伊藤左千夫に傾倒した歌人であり学者の橋田東声〔はしだとうせい〕(高知の人で全国的に活躍をします)がいます。大正8年頃になるとアララギは全盛になっていきますが、アララギと少し離れていき『霸王樹〔はおうじゆ〕』という雑誌を出して一つの流れを作っていきます。その橋田東声の直門がこの旭市の臼井大翼〔うすいだいよく〕で、市内に碑文が建っているようですが、非常に特長のある作風をもっており文学史でも評価されているようです。橋田東声が早く亡くなったあと『霸王樹』という雑誌をずっと受け継いでいくのが臼井大翼です。広く言えばアララギ系統だと思しますので、付け加えておきたいと思

・・・(後略)・・・

伊藤左千夫【いとうさちお】

本名:幸次郎、上総国武射郡殿台(現在の山武市殿台)に生まれる。

正岡子規の歌風等に共鳴し、アララギ派の中心人物となる。

正岡子規の没後、『馬酔木【あしび】』『アカネ』を経て山武市埴谷で『阿羅々木』を創刊する。

代表作:『野菊の墓』、『隣の嫁』、『分家』、『春の潮』など

桜は一年じゅう

日本のどこかで咲いている

～桜とともに四季を歩く旅～

印南和磨／写真と文 2004

河出書房新社 [47975-10]

現代で桜と言えば春に咲く染井吉野が代表的だが、桜には十月桜、二季咲桜、四季桜、冬桜と様々な種類があり、実に一年中日本のどこかで咲いていることになる。例えば千葉県和田浦(南房総市)の抱湖園にある早咲きの「元朝桜」は元旦(旧正月)に咲く桜という意味だとか。

本書は桜の花の美しさに魅せられた著者が日本全国を見て歩いた桜を文と写真で紹介。満開の木全体の写真だけでなく花のアップ写真も多く掲載。また、コラム「桜がもっと好きになるウンチク学」15編を所収、読み物としても楽しめる。

新・桃太郎の誕生

野村純一／著

2000 吉川弘文館 [3881-40]

桃から生まれた桃太郎。黍団子を腰に下げ家来を見つけて、鬼退治に向かうお伽話。果たしてその桃太郎が本当の桃太郎なののでしょうか。

実は日本のあちらこちらに変な桃太郎が居るんです！！ 怠け者の桃太郎。腕白者の桃太郎。東北地方に伝わる便所の桃太郎など！ あなたの中の従来の桃太郎が違って見えるはず。そして、地方の方言で語られる桃太郎が楽しい事この上なし！ その方言を、ぜひ声に出して読んでみてください。



※[]内は資料の請求記号です。

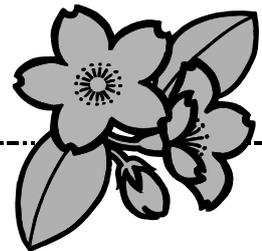
日本の名随筆 65 桜

竹西寛子／編 1988 作品社

[91468-N71-65] (書庫)

「日本の名随筆」シリーズの1巻。永井龍男、佐多稲子、池田弥三郎など昭和に活躍した著名な作家・文学者等38人の桜にまつわるエッセイを収録。桜は古来から人々に愛され、日本を代表する花木ですが、桜の品種は300種類以上もあるそうです。本書にも日本各地の色々な種類の桜が登場します。作家達各人の桜との関わり方も様々で、作者それぞれの生き方を反映しているように見えます。

今年も間もなく開花の時期を迎えます。今回ご紹介した本の桜をぶらり見に行かれるのも一興かと思えます。



ピンクの本

図書館ぶらり散歩(25)

ブック・イン・ピンク

～おしゃれ古本ガイド～

山崎まどか／著 2004 晶文社

[0199-115]

古書マニアでなくとも古本探しは楽しい。本屋で普通に買える新刊本やベストセラーではなく、自分の心に響く1冊を探し求め、まるで宝探しをしているよう。そうして集めた本を、5色のカテゴリーに分けて紹介します。まず「ブック・イン・ピンク」の章では、「おいしい話に目がない人の本棚」で料理・食事の本、「ワードローブの本棚」でファッション、「読書のためのレコード・ライブラリー」で本と音楽を組み合わせで紹介。本の選び方、配置の仕方どちらにも著者の感性が光ります。

図書館の達人

<調べ方案内1> シンガポールについて調べる

東総地区の中学生は海外研修でシンガポールに行っています。
シンガポールという国はどんな国でしょうか。調べてみましょう。

《所蔵資料で調べる》◇東部図書館で所蔵している図書の一例を紹介します。

概要を知る

★世界の国々が載っている地図帳や事典で基本的な事項が確認できます。

- ◆平凡社アトラス世界地図帳 平凡社 2005 【29038/38】参考
・シンガポールが世界の中のどこにあるか確認する。国旗も載っています。
- ◆最新世界の国ハンドブック 森本哲郎/監修 辻原康夫/編集 三省堂 1998 【29036/2】参考
・面積、民族、宗教等がわかる。出版年が古いので注意が必要です。
- ◆今がわかる時代がわかる世界地図 2008 年版 正井泰夫/監修 成美堂出版 2008 【29038/36】参考
・テーマ別に世界の現状をグラフやイラストで紹介しています。
- ◆東南アジアを知る事典 平凡社 1999 【223/1】参考
- ◆世界地理大百科事典4 アジア・オセアニア I 朝倉書店 2002 【29036/3/4】参考

地理・歴史を知る

★シンガポール(東南アジア)の歴史は 233、地理は 29239 の分類の棚にあります。

- ◆シンガポールー多文化社会を目指す都市国家 糸林誉史/著 三修社 2000 【30223/52】一般
- ◆シンガポール華僑粛清 林博史/著 高文研 2007 【21075/308】一般
- ◆シンガポールを知るための60章 田村慶子/編著 明石書店 2001 【30223/58】一般
- ◆住まいから見た社会史 Noman Edwards/著 泉田英雄/訳 日本経済評論社 2000 【3839/34】一般
・住まいをテーマに歴史を紹介している。写真あり。
- ◆東南アジアの歴史 人・物・文化の交流史 桐山昇・栗原浩秀・根本敬/著 有斐閣 2003 【223/16】一般

社会・文化を知る

★社会・文化は 30223 の分類の棚にあります。

- ◆シンガポールの言葉と社会 大原始子/著 三元社 2002 【80223/1】一般
・言葉を中心にして社会構造を知る。
- ◆地球の歩き方D 16 東南アジア ダイヤモンド社 2006 【29093/2/07-4-16】一般
・いわずと知れたガイドブック、その国の地理や歴史、文化についても活用できます。
- ◆シンガポールに暮らす 第2版 ジェトロ/編 ジェトロ 2006 【29239/4/06】一般
・日本貿易振興機構(JETRO)のシンガポールで暮らすためのガイドブック。
旅行ガイドとは違う実用的な紹介がされていて、生活や文化がよりわかります。
- ◆シンガポールの教育と教科書 斎藤里美/編著・監訳 上條忠夫/編 明石書店 2002
・教育について知る。教科書の内容も紹介されています。 【37223/4】一般

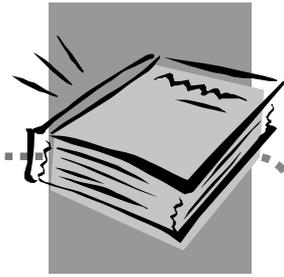
《WEBで調べる》◇主な関連サイト

- ◆外務省 各国・地域情勢 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
・日本の外務省のページ。基礎データや情勢、日本との関係も紹介しています。
- ◆シンガポール政府観光局 <http://www.visitsingapore.com/publish/stbportal/ja/home.html>
・シンガポール政府公式サイト。歴史や統計情報もあります。
- ◆国際機関日本アセアンセンター (東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター)
<http://www.asean.or.jp/>
・東南アジア諸国連合(ASEAN)のページ。統計データ、貿易情報等があります。

【 】内は請求記号です



参考図書カフェ (2)



国内外の年間スケジュールを1日1ページで収録

「共同通信ニュース予定 2008」

共同通信社編集局予定センター／編集 共同通信社 2007

請求記号[0313-3-08(参考)]

東部図書館には、多くの参考図書があります。基本的な事典や辞書はもちろんですが、なかなかユニークな資料もたくさんあります。

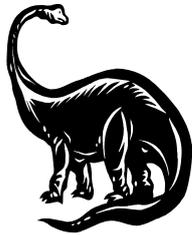
今回紹介するのは、1年間の各種予定を掲載した「共同通信ニュース予定」です。日本の代表的な通信社である共同通信社が、国内外の取材網を活用し、各省庁、自治体、コンベンション会場などの協力も得て作成したスケジュール帳です。

巻末に「2009年以降の予定」として、「2045年 目標＝被爆100年の45年までは原爆ドームを現在の姿のまま保存(広島市)」など、2100年まで掲載されています。

例えば・・・

2008年3月20日(木) 【春分の日】【上野動物園開園記念日】

○長野、ウメ開花のころ

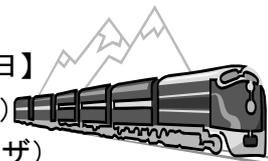


- 「世界最新！よみがえる恐竜大陸」(~5月18日、幕張メッセ)
- 福岡県西方沖地震から3年(福岡市・玄界島など)
- 滋賀県草津市長任期満了

その他、スポーツでは多くの高等学校全国大会(スキー、カーリング、柔道、バレーボール)が、各地で開催されます。

2008年11月1日(土) 【灯台記念日】【紅茶の日】【計量記念日】

- 最上川三難所そば街道「板そばまつり」(~30日、山形県村山市)
- 第29回日本鉄道模型ショウ(~2日、東京都大田区・区産業プラザ)
- 源氏物語千年紀記念式典(国立京都国際会館)
- 国際ファッション・アイディールホーム・クラフトフェア(~9日、ドイツ・エッセン)



2007年10月末現在で判明した予定です。その後変更される場合があります。

参考図書は、何か特定の知識・情報について調べるための資料です。辞書や百科事典、便覧、統計書などで、小説のように通読するものではなく、言葉が50音順に並べられていたり、索引が用意されていたりと必要な箇所を簡単に探し出せるように編集されています。短時間で簡潔な知識を得るのに便利です。東部図書館では、より多くの人々が利用できるように個人貸出はしていません。図書館内でご利用ください。



レファレンスあれこれ (25)

資料に関する調査・相談にお応えしています。過去に寄せられたご相談の事例をご紹介します。

「二人羽織」のやり方を知りたい。

【調査経過】

- ① 図書館からのレファレンスで、すでに東部図書館所蔵の『珍芸・隠し芸百貨』(愛隆堂)『かくし芸のすすめ』(山王書房)『かくし芸と珍ゲーム』(高橋書店)『珍ゲームと隠し芸』(永岡書店)『かくし芸百科』(日東書院)『かくし芸に強くなる本』(新星出版社)を借りて調査したが、記載がないということだった。
- ② そこで『日本十進分類表』の相関索引で余興、遊戯を調べたところ、「遊戯」の分類が(スポーツ)781、(民俗)384.55、(室内遊戯)798とわかった。
- ③ まず、宴会の余興ということだったので、798の分類の本を確認したところ、『宴会パーティー幹事さんの本』(大泉書店)のp87～88に記載があった。ただし、イラストがなかった。『宴席ゲーム百科』(成美堂出版)のp128～129には「二人背広」の記載があった。
- ④ 781の分類を調査したところ、参考図書『遊びの大事典 実技編』(東京書籍)P210「二人羽織」にイラストつきで、説明があった。

【提供図書】 [] 内は請求記号です。

『宴会パーティー 幹事さんの本』(大泉書店 1987) [798/I18]書庫

『宴席ゲーム百科』(成美堂出版 1988) [798/Y53]書庫

『遊びの大事典 実技編』(東京書籍 1989) [7819/2/2]参考

●担当者のコメント●調査の際に、書名に適切なキーワードを入力し、検索することが多いと思いますが、テーマによっては『日本十進分類表』を使い、分類番号から探すと便利です。



名作映画鑑賞会のご案内

毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)
併せて、午後1時から「日本を縦断する映像発表会」作品も上映しています。
どうぞ足をお運びください。

開場：午後0時50分～ ビデオ上映：午後1時～ 映画上映：午後1時30分～
場所：東部図書館3階研修室 ※来館又は電話でお申し込みください。

- ★ 4月19日(土) 『エデンの東』 監督：エリア・カザン/主演：ジェームス・ディーン
(1954年/アメリカ/カラー/115分)
- ★ 5月17日(土) 『巴里の屋根の下』 監督：ウネ・クレール/主演：アルベール・プレジャン
(1930年/フランス/モノクロ/75分)
- ★ 6月21日(土) 『植村直己物語』 監督：佐藤純彌/主演：西田敏行
(1986年/日本/カラー/140分)

地図の世界を楽しもう

～伊能忠敬記念館～

香取市佐原地区の小野川沿いは、江戸・明治・大正・昭和期の町家・土蔵・レンガ造りなどの建物が数多く残り、関東で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定されたところ

です。その古い町並みの一角に、伊能忠敬記念館があります。



伊能忠敬は、50歳を過ぎてから日本全国を測量して歩き、わが国最初の実測日本地図を作り上げた人物です。記念館は、重要文化財である地図・測量日記・手紙・手沢本など、貴重な資料を保存し、その一部を展示公開しています。

記念館に入館すると、まず、忠敬の肖像画が来館者を出迎えてくれます。その隣には、伊能図とランドサットからの衛星写真による日本の様子が展示され、今から約200年前に作成した地図の正確さに驚かされ、来館者を地図の世界へと導いてくれます。

館内を進んでいくと、忠敬の人生が佐原時代から全国測量へと、順を追ってわかりやすく紹介されています。伊能家によって大切に守られてきた重要文化財等の資料も展示されています。



また、映像コーナーもあり、夢にチャレンジした忠敬について約10分間で紹介しています。

第2展示室では、「佐原のおかみさん会」が中心となって町中の18箇所で行われているお雛様展示と合わせて、3月23日まで、「伊能家のおひなさま 佐原のおひなさま」展が開催されています。

郷土の偉人のすばらしい業績に触れながら、地図の持つ不思議さ、面白さ、楽しさを満喫できる記念館です。

◆所在地 香取市佐原イ1722-1
(Tel 0478-54-1118)

◆開館時間 午前9時～午後4時30分

◆休館日 月曜日(但し、休日の時は開館し、翌日休館)

国民の祝日の翌日、年末年始
旧宅は年末年始のみの休館

◆入館料	大人	小・中・生
個人	500円	250円
団体(15名以上)	450円	200円

■ 県立図書館の資料は、市町立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設に御相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

旭市の公園整備事業で、当館正面玄関前の空地が埋め立てられ、2月末現在工事は着々と進んでいます。公園の真ん中に榎の高木も植えられ図書館へのアプローチは見違えるようになるでしょう。市のご配慮に心から感謝しています。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>